

広がってます！ 「思春期版家庭教育支援プログラム」

進路や友人関係などに悩む思春期の子どもとの向き合い方を学ぶことができる「思春期版家庭教育支援プログラム」は、多くの保護者が集まる学習機会や交流会で活用され、中学校や高等学校、特別支援学校をステージに、県内に少しずつ広がりを見せています。

より効果的な活用場面や活用方法のヒントを7つのモデル校（PTA）の取組をもとに紹介します。

思春期版 家庭教育支援プログラム

思春期は、心身ともに不安定になりやすい時期です。

思春期の子どもをもつ保護者の家庭教育支援を充実させるため、栃木県教育委員会は、平成23年度に「思春期版家庭教育支援プログラム」を作成し、中学校、高等学校、特別支援学校で活用を促進しています。



保護者の「不安や悩み」を軽減します！



保護者の「学び」を応援します！



保護者の「つながり」をつくります！



思春期版家庭教育支援プログラム促進モデル事業

モデル校 (PTA) レポート1

思春期版家庭教育支援プログラム（H23年度作成）で期待される効果の検証と普及啓発を図るため、H24年度～H25年度の2年間、7校を「思春期版家庭教育支援プログラム」のモデル校（PTA）として、様々な機会にプログラムを活用した、保護者の学習機会の実践をしていただきました。モデル校（PTA）の実践の中で、特徴的な取組と得られた効果を紹介します。

■平成24年度モデル校 (PTA)

下野市立南河内中学校

～父親の思春期の子ども理解のために～

特 徴

保護者の学習の機会への参加は、母親が中心であるが、多くの父親の参加が期待されるPTA行事で、プログラムを活用した学習機会を提供しました。

実施機会

父親参観日 親子職員球技大会

テ ー マ

「我が子は思春期真っ只中！」

成 果

- 普段はなかなか参加できない、父親の子育てに関する学習機会の提供ができました。
- 思春期の子どもをもつ父親の戸惑いを共有しました。
- 父親の子育てへの参加意欲を高められました。
- 母親同様、父親も子育てについての不安を語る機会を求めていることがわかりました。



栃木県立黒磯高等学校

～実践を重ね、より効果的な活用場面と内容を工夫～

特 徴

前年度、プログラムの開発協力校として、既に参加型学習を経験している保護者に対して、段階を踏まえたテーマの設定、他のプログラムとの組合せなどを工夫し、効果的な活用を図りました。

実施機会

2年生「進路説明会」・1年生「進路説明会」

テ ー マ

「我が子の進路とどう向き合っていますか？」

成 果

- 進路講演会で得た情報や疑問点が、学習会につながりました。
- 参加型学習を経験したことのある保護者は、学習への不安がなく、発言や交流に積極的に関わられました。
- 1年生の保護者の新たなつながりをつくるためには、高校生活に慣れた時期での実施が効果的だとわかりました。



栃木県立益子特別支援学校

～つながりを求めている保護者の思いを認識～

特 徴

特別支援学校において、プログラムを活用した保護者の学習会をはじめて実施しました。特別支援学校で保護者のニーズやプログラムの活用の有効性を探りました。

実施機会

PTA役員会・理事会、PTA進路学習会

テ ー マ

「将来の自立に向けて子どものことについて話してみませんか」

成 果

- 保護者が、他学部の保護者とつながる機会となりました。
- 先輩の保護者との交流が、子どもの進路や将来に対する不安や悩みの軽減につながりました。
- 保護者同士のつながりをつくるという保護者のニーズに、プログラムが有効であることが確認できました。
- 誰もが学習会に参加できるよう、ファシリテーターと校内担当者の事前打ち合わせの重要性を確認しました。



■平成25年度モデル校 (PTA)

足利市立山辺中学校

～地域ぐるみで、子どもたちとの関わり方を考える～

特 徴

生徒の住む地域で実施する「地域懇談会」において、地域の人々が思春期の子どもたちへの理解を深めるため、また、互いに言葉をかけあえるつながりづくりのため、プログラムを活用しました。

実施機会

地域懇談会

テ ー マ

「子どもと携帯電話 その光と影」

成 果

- 保護者、PTA会員、民生委員・児童委員、子ども会育成会関係者など、地域の幅広い世代で思春期の課題について話し合いました。
- 現代的な課題をテーマに設定したことにより、大人が学ぶ必要性を確認できました。
- 学校から情報提供された資料の活用により、地域の学校への理解が深まりました。



栃木県立鹿沼東高等学校

～プログラムの継続した活用のために～

特 徴

モデル事業終了以降もプログラムを継続して活用するために、教員が助言者（コメンテーター）としてプログラムの実施に関わりました。

実施機会

2年生「学年懇談会」の後のクラス懇談会

テ ー マ

「我が子の進路とどう向き合っていますか？」

成 果

- クラス担任が保護者同士の会話の中から、学校生活では見せることのない生徒の一面を知ったり、保護者の悩みや不安を知ること、生徒のより深い理解につながりました。
- クラス担任が、保護者の学びに対するメッセージを伝えたことで、保護者と担任との距離が縮まり、学校への理解が深まりました。



栃木県立矢板東高等学校・附属中学校

～保護者の学びも中高一貫～

特 徴

中高一貫教育、中高で一つのPTA組織という特性を生かし、中学校と高校が連携して保護者への学習機会を提供しました。また、より和やかな雰囲気の中で保護者の話しあいができるよう、ワークショップの前にランチミーティングを実施しました。

実施機会

学年保護者学習会

テ ー マ

中学：「保護者同士のつながりで、子育て応援」
高校：「我が子の進路とどう向き合っていますか？」

成 果

- 中学校、高校どちらにおいても、保護者のつながりがまだできていない1年生で、保護者を対象に実施したところ、プログラムが保護者同士のコミュニケーションを深める上で有効でした。
- 中学、高校と生徒の発達段階に応じたテーマを設定しました。
- ランチミーティングは、保護者の雰囲気作りのための有効な手段でした。



栃木県立のざわ特別支援学校

～お互いに子育て中のがんばりをたたえる～

特 徴

それぞれ子育ての背景は違っても、子どもの成長が一番うれしい。そのためにつつがいがんばりすぎてしまう。共通の思いや悩みを共有することで、つながりをつくるプログラムを実施しました。

実施機会

保護者学習会

テ ー マ

中学部：「一緒に考えよう！思春期の子育てや進路の悩み、戸惑い」
小学部：「私の笑顔の秘訣は…（リフレッシュ法教えます！）」

成 果

- 普段言葉を交わすことがなかった保護者同士でも、互いの思いや悩みを語り合うことができました。
- 保護者同士の交流により参加者の視野を広げ、互いにポジティブに子育てにむかえるよき支えあえる関係もできました。
- モデル事業をきっかけに、学校がPTAに働きかけ、保護者が自由に相談やおしゃべりができる学年会を新たに作り直しました。



これから「思春期版家庭教育支援プログラム」を使う方へ ～よりよい活用のポイント～

思春期版家庭教育支援プログラムは、7校のモデル校での実践を中心に効果的な活用方やポイントについて検証を重ねてきました。

「思春期版家庭教育支援プログラム」活用のポイントを整理しました。

ポイント1 ニーズに合わせた学習テーマを選びましょう

- 保護者の不安や悩み、子どもたちをめぐる課題に対応させたテーマの設定

ポイント2 ワークショップに対する保護の抵抗感を少なくしましょう

- 保護者が気軽に参加しやすいような事業名や周知方法の工夫

ポイント3 保護者の参加意欲を持続させましょう

- 保護者の参加意欲が低下しない、開催時期や回数の検討

ポイント4 学習効果を高めるプログラムにしましょう

- 実施目的や、参加対象にあわせた他の学習法との組合せや資料の選定

ポイント5 参加者が楽しい気持ちで学べる雰囲気ようにしましょう

- 気軽に話しができるような会場や準備の工夫

ポイント6 いろいろな機会にやってみましょう

- 学校でのPTA行事、学年会や学級懇談会、地域での様々な活動など

ポイント7 ファシリテーターに協力してもらいましょう

- プログラムを効果的に活用できるファシリテーターに依頼

これからのニーズに応えるために

～ファシリテーターがスタンバイ！～

思春期版家庭教育支援プログラムは、「親学習プログラム」がベースです。

「親学習プログラム」も「思春期版家庭教育支援プログラム」も、県内各地にプログラムを活用できるファシリテーターがいます。

プログラムを活用した保護者の学習会で、ファシリテーターを希望する場合は、お住まいの市町村教育委員会やお近くの教育事務所ふれあい学習課にお問い合わせください。

栃木県総合教育センターでは、「思春期版家庭教育支援プログラム」を効果的に活用するための研修を行っています。

家庭教育支援プログラム指導者研修（思春期版プログラムコース）

開催 2回/年

場所 栃木県総合教育センター

※詳細は総合教育センターから発行される開催要項を御覧ください。

栃木県教育委員会事務局生涯学習課

〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1-1-20 TEL 028-623-3404 FAX 028-623-3406
E-mail: syougai-gakusyuu@pref.tochigi.lg.jp